

様式第1号（第5条関係）

移住コンシェルジュ活動支援助成金交付申請書

平成30年 7月10日

公益財団法人 但馬ふるさとづくり協会 理事長 様

所在地 豊岡市中央町2-4
団体の名称 移住促進の会
代表者名 伊重 則真 ⑩

次のとおり助成金の交付を受けたいので、移住コンシェルジュ活動支援助成金交付要綱第5条第1項の規定により、必要書類を添えて申請します。

1 助成対象事業区分	1
2 助成申請額	100,000 円
3 事業費総額	170,000 円
4 添付書類	<input type="checkbox"/> 協会が必要と認める書類 ()

様式第2号（第5条関係）

事業計画書

1 事業内容等

事業名	小代の暮らし体験プログラム
事業の実施主体	移住促進の会
事業の実施予定時期	30年 9月 1日 ～ 30年 9月 2日
事業の趣旨・目的	<p>移住促進の会では、年間を通して様々な体験プログラムを実施しています。今回は小代地域の日常風景や仕事に触れることで新しい暮らしのイメージをもってもらうことを目的として実施します。</p> <p>また、プログラム中に先輩移住者や地元住民と参加者が交流し、地域の人柄を知ってもらうと同時に継続的に関われる関係性を築き、移住を促します。</p>
事業の概要	<p>(1) 事業内容（継続的推進のための仕組みを具体的に記載） 稲刈り体験と新米および地域の食材を使った夕食交流会を実施。 翌日は散策と稲刈り体験と昼食、温泉に入って解散。</p> <p>●9月1日(土) 13:00 現地集合、自己紹介、流れの説明 13:30 稲刈り体験 コンバインの操作や端っこの稲の手刈り、乾燥機への搬送など一般的な稲刈りの体験を行います。 16:00 一部参加者は夕食づくり開始 17:00 温泉に行く 18:30 夕食交流会</p> <p>●9月2日(日) 7:00 起床、小代の気持ちいい朝を体験 7:30 朝食 8:00 稲刈り体験 11:00 温泉に行く 12:00 昼食 13:00 解散</p> <p>(2) 事業実施効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方と一緒に作業できるため、体験プログラムの中でしっかりと田舎暮らしのスキルを高められます。 ・ お客様扱いしないプログラムなので、移住後の生活をイメージでき、気に入れば移住への一歩が踏み出しやすくなります。

2 収支予算内訳

(1) 収入

(単位：円)

科目	予算額	摘要
自己資金	50,000	
協会助成金	100,000	
その他	20,000	参加料@2,000*10
合計	170,000	

(2) 支出

(単位：円)

科目	予算額	摘要
施設使用料	13,000	公民館使用料(交流会)@3,000 温泉施設利用料@500*10人*2回
広告宣伝費	50,000	DM 発送 @82*100 通 チラシ印刷費@5*2000 部 ウェブ広告@31,800
謝金	11,000	地元コーディネーター@5,000 先輩移住者(交流会参加) @3,000*2人
保険料	6,000	保険料@300*10人*2日
宿泊費	30,000	参加者宿泊費@3,000*10人
飲食代	60,000	交流会食材等@3,000*20人
合計	170,000	

様式第3号（第5条関係）

団 体 概 要 書

(ふりがな) 団体名	いじゅうそくしんのかい 移住促進の会	
(ふりがな) 代表者 職・氏名	いじゅう そくしん 会長 伊重 則真	
URL	ウェブサイトなし	
設立年月日	H29年 5月 20日	
構成員数	6人	
活動実績	H29.5 村の有志により発足 H29.8 盆帰省の村内家族交流イベント開催 H30.1 雪かき体験プログラム開催 H30.4 総会	
事務担当者 連絡先	担当者氏名	伊重 則真
	住 所	〒000-0000 香美町小代区 00000
	電話番号	0000-00-0000
	メールアドレス	ijusokushinnokai@0000.com

※団体の規約・会則を添付してください。

様式第5号（第6条関係）

移住コンシェルジュ活動支援助成金変更（中止）申請書

H30年 8月 25日

公益財団法人 但馬ふるさとづくり協会 理事長 様

所在地 豊岡市中央町2-4
団体の名称 移住促進の会
代表者名 伊重 則真 印

平成30年 7月 30日付け財但協第00号で交付決定を受けた移住コンシェルジュ活動支援助成金について、次のとおり変更（中止）したいので、移住コンシェルジュ活動支援助成金交付要綱第6条第1項の規定により、必要書類を添えて申請します。

1 変更内容	ウェブ広告費を 31,800 円から 0 円に変更。
2 変更（中止）理由	すぐに参加者が集まったため、ウェブ広告が不要になりました。

※変更内容が分かる書類を添付してください。

H30年 9月 20日

移住コンシェルジュ活動支援助成金実績報告書

公益財団法人 但馬ふるさとづくり協会 理事長 様

所在地 豊岡市中央町2-4
団体の名称 移住促進の会
代表者名 伊重 則真 ⑧

平成30年 7月 30日付け財但協第00号にて交付決定を受けた移住コンシェルジュ活動支援を完了したので、移住コンシェルジュ活動支援助成金交付要綱第8条の規定により、必要書類を添えて報告します。

1 事業完了年月日	H30年9月2日
2 事業の成果 (事業目的に対する達成状況等を記載してください。)	プログラムに10名が参加しました。内訳は京阪神が6名、鳥取が1名、岡山が1名、関東が2名。 過去のプログラムに参加された方がリピーターとして3名参加し、継続的な交流もできました。 参加者の声は概ね良好で、小代の良さに加え農業の良さ大変さも体験していただいたので、今後も来てもらえるように引き続き体験プログラムを開催していきたいです。
3 事業展開 (今後の事業展開等を記載してください。)	今後も体験プログラムの実施を行い、継続的に交流したいと考えています。 しっかりと縁ができれば、ホームステイ体験や中長期滞在を受け入れられるよう整備します。
4 添付書類	<input type="checkbox"/> 事業の様子が分かる写真等 <input type="checkbox"/> 協会が必要と認める書類 (参加者名簿、チラシ、当日の行程表)

5 収支決算内訳

(1) 収入

(単位：円)

科目	決算額	摘要
自己資金	18,200	
協会助成金	100,000	
その他	20,000	参加料@2,000*10
合計	138,200	

(2) 支出

(単位：円)

科目	決算額	摘要
施設使用料	13,000	公民館使用料(交流会)@3,000 温泉施設利用料@500*10人*2回
広告宣伝費	18,200	DM 発送 @82*100 通 チラシ印刷費@5*2000 部
謝金	11,000	地元コーディネーター@5,000 先輩移住者(交流会参加) @3,000*2人
保険料	6,000	保険料@300*10人*2日
宿泊費	30,000	参加者宿泊費@3,000*10人
飲食代	60,000	交流会食材等@3,000*20人
合計	138,200	

※事業に要した経費が確認できる領収書等の写しを添付してください。

H30年 9月 20日

移住コンシェルジュ活動支援助成金請求書

公益財団法人 但馬ふるさとづくり協会 理事長 様

所在地 豊岡市中央町2-4
団体の名称 移住促進の会
代表者名 伊重 則真 ⑩

平成30年 7月 30日付け財但協第00号で交付決定を受けた移住コンシェルジュ活動支援助成金について、移住コンシェルジュ活動支援助成金交付要綱第10条第2項の規定により、下記のとおり請求します。

記

1 請求額 ***** 円

2 振込先

金融機関名	<u>****</u> 銀行 <u> </u> 信用金庫 <u> </u> 信用組合 <u> </u> 農 協	<u>****</u> 支店 <u> </u> 支所
預金種別 (いずれかに○)	普通 当座 貯蓄	
口座番号	*****	
(ふりがな) 口座名義人	ふりがな <u>いじゅう ぞくしん</u> <u>伊重 則真</u>	